

事業名 (箇所名)	国際物流ターミナル整備事業 (四日市港 霞ヶ浦地区)		担当課 担当課長名	港湾局計画課 中村 晃之	事業 主体	中部地方整備局																											
実施箇所	三重県四日市市																																
主な事業 の諸元	岸壁(水深14m)(耐震)、泊地(水深14m)、臨港道路 等																																
事業期間	事業採択	令和3年度	完了	令和10年度																													
総事業費 (億円)	324億円																																
目的・必要 性	<p>【解決すべき課題・背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> 四日市港においては、近年東南アジア航路のコンテナ船の大型化が進展しており、水深14m岸壁を有する北ふ頭の利用が増加している。今後、大型船の着岸可能な岸壁の不足が見込まれることから、水深14m岸壁(2バース目)の整備が求められている。また、背後の自動車企業等において完成自動車の取扱が増加する見込みであり、これに対応した港湾機能の強化が必要である。 <p>【達成すべき目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 四日市港において、コンテナ貨物量の増加や船舶の大型化に対応するため、霞ヶ浦地区において岸壁の整備、泊地の浚渫等、国際物流ターミナルの整備を行う。 																																
上位計画 の位置づけ	<p>【国土形成計画(平成27年8月14日閣議決定)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業の立地環境を向上させ、我が国産業の国際競争力を強化するため、国際コンテナ戦略港湾、国際バルク戦略港湾を核とした国際物流ネットワークの強化を推進する。また、地域の基幹産業の競争力強化に資する港湾の機能強化を通じた物流ネットワークの充実を図る。 <p>【経済財政運営と改革の基本方針2020(令和2年7月17日閣議決定)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症の拡大の影響により脆弱性が顕在化したことを踏まえ、生産拠点の集中度が高いもの等について、国内外でサプライチェーンの多元化・強靱化を進める。さらに、価値観を共有する国々との物資の融通のための経済安全保障のルールづくりを進める。道路や港湾など生産性向上等に直結する社会資本の重点的な整備に加え、航空や鉄道などの必要な輸送能力の確保を図るとともに、データ、新技術も活用した物流の効率性・安全性の向上に資する取組を加速する。グローバル・サプライチェーンの強靱化の観点から、エネルギー・鉱物資源の安定供給の確保や、企業間連携を含め海運・造船業などの海事産業の競争力強化に官民を挙げて取り組む。 <p>【国土強靱化基本計画(平成30年12月14日閣議決定)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の経済を支える人流・物流の大動脈及び拠点については、大規模自然災害により分断、機能停止する可能性を前提に、広域的、狭域的な視点から陸・海・空の輸送モード間の連携による代替輸送ルートを早期に確保するとともに、平常時の輸送力を強化する。 <p>【港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針(令和2年3月13日告示)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国及び地域の基幹産業・地場産業を支え、民間投資及び雇用を誘発するため、産業の特性に応じて、物流機能の強化及び利便性の高い産業空間への再編を柔軟に行う。 人口・資産・産業が集中している港湾及び港湾背後地を災害から守り、社会経済活動を維持できるよう、緊急物資及び幹線貨物の輸送機能等の確保並びに支援活動の拠点にもなる港湾機能の強化を進める。 																																
事業の多 面的な効 果	<p>■政策目標・施策目標への貢献度</p> <ul style="list-style-type: none"> 政策目標:国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化 施策目標:海上物流基盤の強化等総合的な物流体系整備の推進、みなとの振興、安定的な国際海上輸送の確保を推進する <p>■定性的・定量的な効果</p> <p>【①自動車関連企業等における国際競争力向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本事業の実施により、コンテナ船の大型化・増便への対応や、ふ頭再編による機能の集約等による輸送効率化が図られる。これにより、自動車関連企業をはじめとする幅広い産業の国際競争力の向上が期待できる。 <p>【②地域産業の振興、背後企業の新規立地・投資】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本事業の実施により、火力発電所や化学産業が集積し、背後企業の燃料、原料輸送の拠点である四日市港において、大量一括輸送が図られることで、四日市港背後における産業の振興が図られる。 また、近傍の四日市港を利用できることにより、陸上輸送距離が短縮され、トラックドライバー不足の解消が期待される。 さらに、四日市港の利便性が向上することで、四日市港と道路ネットワークにより結ばれる周辺地域の利便性も向上し、背後圏の工業団地等への更なる新規立地の促進が期待される。 <p>【③ターミナルの更なる効率化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本事業の実施により霞ヶ浦地区の北ふ頭へコンテナ機能が集約されることで、荷役機械の稼働率の向上・省力化、コンテナの横持ちの解消、人員・機材等の二重化の解消が図られ、効率的な荷役が可能となる。 さらに、将来的にAI・IoT、遠隔操作化・自動化等の導入によるコンテナターミナルの生産性の向上が期待される。 <p>【④被災時における社会・経済活動の維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本事業の実施により、被災時においても耐震強化岸壁を活用した海上輸送が可能となり、背後企業が事業を継続し、社会・経済活動を維持することが期待される。 <p>【⑤排出ガスの減少】</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上輸送距離の短縮に伴い、自動車のCO₂及びNO_x排出量がそれぞれ以下の通り減少する。 CO₂:1,038トン/年 NO_x:10トン/年 <p>■定量的効果のうち投資効率性</p> <p>【便益の主な根拠】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外貨コンテナ:8.5万TEU/年 完成自動車(輸出):3.4万台/年 完成自動車(移出):3.1万台/年 被災時コンテナ:24.5万TEU/年 <p>【投資の効率性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 輸送距離の短縮による輸送コスト削減効果(コンテナ貨物):189億円 輸送距離の短縮による輸送コスト削減効果(完成自動車):211億円 被災時における輸送距離の短縮による輸送コスト削減効果:204億円 残存価値:2.0億円 <table border="1"> <tr> <td>基準年度</td> <td colspan="10">令和2年度</td> </tr> <tr> <td>B:総便益(億円)</td> <td>607</td> <td>C:総費用(億円)</td> <td>273</td> <td>EIRR(%)</td> <td>8.5</td> <td>B-C</td> <td>334</td> <td>B/C</td> <td colspan="2">2.2</td> </tr> </table> <p>(感度分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> 需 要 (-10% ~ +10%) B/C(2.0 ~ 2.4) 建 設 費 (+10% ~ -10%) B/C(2.0 ~ 2.5) 建設期間 (-10% ~ +10%) B/C(2.1 ~ 2.4) 											基準年度	令和2年度										B:総便益(億円)	607	C:総費用(億円)	273	EIRR(%)	8.5	B-C	334	B/C	2.2	
基準年度	令和2年度																																
B:総便益(億円)	607	C:総費用(億円)	273	EIRR(%)	8.5	B-C	334	B/C	2.2																								
対応方針	採択																																
その他	<p>【第三者委員会の意見・反映内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業」の新規事業採択時評価については適当である。 <p>【港湾管理者の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> (四日市港管理組合)確実に令和3年度の新規事業化を図っていただくようお願いする。 																																

